

令和6年度 第4回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和6年9月19日(木) 13:32 ~ 14:48
会議方法 対面会議(オンライン併用(Google Meet))
会 場 事務局棟3階 第1会議室
出席者 (学外) 小林, 林田, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 河田, 原田, 山口, 三木, 藪田, 坂本, 武中の各委員
内田監事, 足立監事
陪席者 後藤副学長, 岡田副学長, 川村副学長, 香川副学長, 岸本地域学部長,
景山医学部長, 坂口工学部長, 明石農学部長

<委員・陪席者の紹介>

議事に先立ち, 議長より, 新任委員となる公立鳥取環境大学小林学長及び新任陪席者となる内田監事の紹介が行われた。

議事要旨の承認

前回(令和6年7月30日開催)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 2024年度における国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等の確認・公表について

資料1に基づき, 前回の経営協議会後に学外委員からいただいた意見を踏まえた「適合状況確認表」の修正案, 公表に係るスケジュールについて説明があり, 審議の結果承認した。

報 告

1. 令和5年度業務実績報告書(概要)について

資料2に基づき, 法人評価に関する自己点検・評価結果として「業務実績(概要版)」を作成したことについて報告があった。

2. 令和7年度国立大学法人運営費交付金概算要求及び令和7年度施設整備費概算要求に係る事業評価について

資料3に基づき, 令和7年度国立大学法人運営費交付金概算要求及び令和7年度施設整備費概算要求について説明があり, 文部科学省から財務省に提出された概算要求事項及び施設整備費の事業評価について報告があった。

— 委員からの主な発言と本学の対応 —

◇委員より, 附属学校部のスクールカウンセラーやソーシャルワーカーに関する

公認心理師や社会福祉士などの募集や採用についての具体的な計画について質問があり、予算確保の見通しができれば、現場に必要な人材について精査し募集していく旨説明があった。

◇委員より、【トクマチ（19のまち）未来をつなぐ「ウェルビーイング地域社会」のモデル形成を目指す教育研究組織改革】の内容について質問があり、鳥取県内のすべての市町村と包括的なプラットフォームを構築し、地域課題の解決により効果的に大学が支援できるよう進めている旨説明があった。

3. 鳥取地区職員宿舎の今後の方針について

資料4に基づき、鳥取地区職員宿舎の今後の方針について、宿舎として使用廃止を決定した旨報告があった。

4. 令和5事業年度財務諸表の承認

資料5に基づき、令和5事業年度財務諸表が令和6年8月30日付けで文部科学大臣より承認を受けた旨報告があった。

5. 令和6年人事院勧告について

資料6に基づき、令和6年人事院勧告に係る本学の対応について、国家公務員の給与改定に準じ、本学職員の給与及び役員報酬を改定する方向で検討を進めるが対応については、財務状況を精査及び他大学の対応状況等を注視しつつ慎重に判断する旨報告があった。

— 委員からの主な発言と本学の対応 —

◇委員より、令和6年度より病院では、人件費増額分を診療報酬によって補填できる改定が行われ、附属病院での対応状況について質問があり、大まかなシミュレーションを行っており、対応について検討している旨説明があった。

◇委員より、給与のベースアップ分予算を、既定予算の中からどのような算出していくのか、次回の経営協議会の際に提示いただきたい旨発言があった。
また、限られた予算の中で優秀な人材を確保することは重要であり、特に人事評価については、上司と部下の相互評価が民間では浸透してきているが、能力のある人材を正しく評価できる仕組みを整え、具体的な人材育成を計画していくことが大切である旨発言があった。

その他

資料7に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料8に基づき、令和6年度第5回を11月27日開催予定である旨説明があった。